

## 平成 27 年度予算編成について

### 1. 平成 27 年度予算の概要

平成 27 年度予算は、通学制養成講座の募集が定員の 83.3%にとどまり、26 年度受講者より約 500 名減少し、昨年度以上に厳しい予算編成となりました。

平成 26 年度の予算規模は、総収入 26 億 4 千 9 百万円、総支出 26 億 8 千 5 百万円で当期正味財産増減額は 3 千 6 百万円のマイナスとなりました。26 年度決算対比で総収入は 5 千 6 百万円の増収、総支出は 1 億 3 百万円の増加、当期正味財産増減額は 4 千 5 百万円の減益見込みとなります。

また、本年度も引き続き公益目的支出計画に沿って実施 4 事業で 7 千万円の支出を見込んでいます。公益目的支出事業とその他一般事業を分けますと公益目的支出で 7 千万円のマイナス、その他一般事業で 3 千 4 百万円のプラスとなります。(総会資料 54P を参照ください)

今回の予算編成において、キャリア・コンサルタント資格の国家資格化(国会審議中)によるキャリア・コンサルタント講座の収入及び費用は見込んでいません。

### 2. 収 入

個人会費収入は、約 1,500 名の新規会員加入者を予定し、入会金と合わせ 1 千 6 百万円の増収を見込んでいます。賛助会員は各支部で目標を立て 60 社、80 口の増加を予定し、4 百万円の増加を見込んでいます。事業収入全体では前年度実績対比 3 千 6 百万円の増収となっています。養成講座、通信講座、実技指導者養成講座、普及事業当で 9 千 2 百万円の減収見込みとなっています。

会員研修収入の 2 億 2 千万円予算建ては、安全衛生法改正によるストレスチェックの義務化により、協会としてストレスチェック関連講座を全国展開する計画を建てていることによるものです。

受託事業は 27 年度厚生労働省委託事業「こころの耳」を継続受託し 4 千 4 百万円の予算計上をしました。

### 3. 支 出

全国研究大会を除く事業支出全体では 1 億 3 千万円増加の 14 億 2 千万円となりました。認定試験事業は、大学等の公的施設の使用が難しくなったため、民間の施設を利用せざるをえなくなりそうであることや、郵送費等の経費負担が見込まれるため、前年度実績対比で 4 千万円の増加を見込んでいます。養成講座、キャリア講座は収入減となりましたが、新テキストの作成のため経費は、前年実績対比 2 千 6 百万円の増加を見込んでいます。会員研修はストレスチェ

ック関連研修講座による経費負担を予算建てし、6千3百万円の増加見込みを建てています。

会報発行費は、発送費の負担増が予想されますが、効率化により経費増を抑え込む予定です。

広報宣伝費は、講座受講者確保のための広告費等として2千6百万円を計上しました。毎年一般管理費の増加が大きいため、通信費、委託費等の見直しを行い2千9百万円の減額を見込み、管理費全体で2千4百万円の減額予算となりました。

#### 4. 公益目的支出事業について

公益目的支出事業全体で7千万円の支出を見込んでいます。個別では相談室における相談事業で3千1百万円、公開講座で1千1百万円、産業カウンセリング体験講座で1千2百万円、無料電話相談で1千2百万円の支出を見込みです。

以上